



北野の風

岡崎市立北野小学校 令和3年度 学校通信 No.4 【7月20日】

北野小学校 保護者のみなさんへ

～ 伝えておきたいことがあります

北野小学校長 丹羽 郁人

北野小学校の保護者の皆さま、日ごろは本校の教育活動に對しまして、深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

北野小学校の保護者のみなさんに、伝えておきたいことがあります。

一つ目は、「授業改善」のことです。

私たち教職員は、子供たちの「生きる力」をつけるために、日々、授業の改善に努めております。

今までの、知識を伝授するだけの授業ではなく、子供たちが自身が、考え、判断し、行動できる力を育む授業です。すなわち、子供たちが「あれ、どうしてだろう」とか「ぼくもやってみよう」と感じ、それを解決するために、それを達成するための問題解決的な授業であり、また、みんなで創る、みんなで話し合うという「協働的」な授業です。

二つ目は、「学校の見える化」についてです。

子供たちが登校を終えると、防犯上、門を閉めます、また、コロナの関係もあって、保護者の方にも授業参観を控えていただいた時期もあります。だからこそ、直接学校に行かなくても、学校で行おうとしていることや、行われていることをお伝えしたい。

そこで、まず「学校要覧」(リーフレット)を年度はじめに全保護者にお渡しをし、学区には回覧板で回していただきました。「生きる力」をつける学校づくりをしていますという方向性を示しました。

また、「ホームページの充実」を図りました。パソコンでなくても、スマートフォンで「北野小ホームページ」と検索すると、簡単に見ることが出来ます。毎日の子供たちの様子や、毎月の下校時刻も見る事が可能です。毎日更新していますので、是非ご覧ください。

三つ目は、「教職員の働き方改革」についてです。

私たち教職員の勤務時間は、月曜日から金曜日の八時一五分～一六時四十五分です。残業手当は出ません。教職員が子供たちと笑顔で関わり続けるためにも、私は、教職員の健康を守らなければなりません。

教職員の命と身体と心を守るために、「勤務時間」のこと、「働き方改革」のことを、保護者はもちろん学区の方々にもご理解いただき、進めてまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



▲学校要覧(リーフレット)

夏休み・二学期前半の主な予定

七月

二十一日(水) 夏休み(～八月二十六日)

二十二日(木) 海の日

二十三日(金) スポーツの日(五輪開会式)

八月

八日(日) 山の日

九日(月) 振替休日

十日(火) 学校閉庁日(～十六日)

二十一日(土) 第二回資源回収(予備日二十二日)

二十七日(金) 二学期始業式

三十日(月) 給食開始、委員会

三十一日(火) 三時間授業、給食なし

九月

一日(水) 夏休み作品展(～三日)

三日(金) 授業参観、水泳部選手激励会

四日(土) 小学校水泳大会(予備日五日)

六日(月) クラブ

七日(火) きらきら読み聞かせ(～九日)

十日(金) すくすくタイム

二十日(月) 敬老の日

二十三日(木) 秋分の日

二十五日(土) 社会科研究作品展(りぶら ～十月五日)

二十七日(月) 球技部選手激励会、前期委員会最終

二十九日(水) キッズデイズ(秋休み ～十月一日)、小学校球技大会(～十月一日)

十月

四日(月) 後期委員会開始

八日(金) 山の学習・修学旅行保護者説明会

九日(土) 理科作品展(総合学習センター)

十一日(月) クラブ

十二日(火) きらきら読み聞かせ(～十四日)

十六日(土) 技術・家庭科作品展(総合学習センター)

二十三日(土) 運動会

二十五日(月) 代休日

二十六日(火) クラブ

学校保健委員会



六月十二日、理学療法士の中宿伸哉先生をお招きし、学校保健委員会を開きました。正しい姿勢で生活することの大切さ、正しい姿勢を取るための体作りについて学びました。

保健委員長 竹内 雄星

みなさんは授業中、正しい姿勢を保つことができていますか。僕は、なかなかできていませんでした。学校保健委員会での講話を聴いて、正しい姿勢の大切さについて、改めて考えることができました。

姿勢が悪いと、生活や勉強など、さまざまなことに影響します。例えば、悪い姿勢が原因で身長が伸びにくくなったり、勉強に集中できなくなったりしてしまいます。このようなことになるないように、普段から生活習慣に気をつけて、正しい姿勢を心がけることが大切だと思いました。

僕はスポーツをしているので、この学校保健委員会で教わったことを身につけたいです。そして、スポーツだけでなく、勉強にも生かしていきたいです。



味噌作り体験

（四年生）

ふるさと「北野」のすてきなところへ「榎塚味噌」。伝統的な製法で作られる味噌の魅力や作り手の思いに四年生が迫っています。



四年一組 北野 弘輝

ぼくは、一学期の中で榎塚味噌のことを学びました。見入ることや一五〇年前からある桶が蔵にあることを知り、すごいなあと思いました。

味噌づくりでは、材料をまぜるのは大変だったけど、作るのは楽しかったです。できた味噌は少しずつ変わることや、塩をかけるとカビが生えるにくいことを教えてもらいました。

また野田さんが学校に来て、ぼくたちの質問に答えてもらいました。そこで、あとをつごうと思ったわけなどを知りました。ぼくはこの経験や話を一生忘れないと思います。



四年二組 伊藤 結菜

私は味噌蔵の見学に行く前までは、こうじ菌と大豆と塩と水だけで味噌ができるとは思っていませんでした。見学で豆こうじを食べましたが、納豆のような味がして、あまりおいしくありませんでした。でも、そのあとに食べた味噌汁は、いつ食べているものよりもおいしく感じました。

味噌づくりでは、大豆をつぶすことが大変でした。材料の量が思ったより多くてびっくりしました。味噌を仕込みながら、大豆や混ぜ終わった材料を食べましたが、だんだん味噌の味に近づいている感じがしました。

自分で作った味噌を早く食べたいです。



四年三組 本田 夢華

私は、「ふるさと北野のすてきなところを見つめよう」をテーマに、榎塚味噌について学んできました。

その中で一番心に残っていることは、本物の味噌を自分の手で仕込んだことです。大豆や水、塩、米こうじなどをまぜるのでさえ、初めての私ができるのかなど、どきどきしていました。でも、野田さんがわかりやすく教えてくれたおかげで、ちゃんと仕込むことができました。

人生の中で、味噌を作ることなんてないと思っていたので、こんな経験ができて、うれしくなりました。大人になって、「私、四年生のときに味噌を作ったんだよ」とみんなに自慢したいです。ふるさと北野のことをほこりに思います。

